

# 白石町立小学校再編計画（案） 住民説明会

## 結果報告

## 説明会の結果

白石町および白石町教育委員会では、令和5年2月から3月にかけて住民説明会を開催しました。  
下表のとおり合計7回開催し、延べ147名の方の参加がありました。

対象	期日	場所	参加者数
有明地域	2月24日(金)	有明公民館ホール	37名
//	2月25日(土)	//	16名
福富地域	3月 3日(金)	福富ゆうあい館ホール	18名
//	3月 4日(土)	//	15名
六角・須古小学校区	3月15日(水)	白石町総合センターホール	23名
白石・北明小学校区	3月18日(土)	//	19名
白石地域	3月22日(水)	//	19名
		延べ参加者数	147名

## 意見等と回答（もくじ）

説明会各会場では、以下のような項目のご意見やご質問をいただきました。これらに対する白石町および白石町教育委員会の回答をお示しします。

大分類	掲載ページ	大分類	掲載ページ
●学校運営に関すること	P 5	●まちづくり・学校跡地利用に関すること	P 15
●教育に関すること	P 7	●小学校3校再編に関すること	P 17
●学校施設・規模に関すること	P 9	●小学校の将来の展望に関すること	P 20
●通学支援、通学路の安全・安心に関すること	P 12	●その他	P 22
●地域と学校との連携に関すること	P 14	●要望等に関すること	P 24

# 白石町および白石町教育委員会の回答

---

## 学校運営に関すること

Q 小学校を再編すれば教職員数はどうなるか。

A 教職員数は法律に基づき配置されますが、学校を再編することにより担任外の先生も増え、現在よりも余裕のある人数で子どもたちを見る環境が整います。

Q 支援体制など新たな取り組みは検討されているか。

A 現在、各学校に配置しているスクールアシスタント（教育支援員）について充実させるなど、子どもたちが安全安心に活動できるよう支援体制を整えていきたいと考えています。

Q 複式学級の基準である2つの学年で16人以下になった場合、必ず複式学級にしなければならないのか。

A 複式学級(※)の基準に応じて教員が配置されますので、基本的に複式学級にしなければなりません。町独自で教員を配置すれば回避することも可能ですが、財政面の問題もあり難しい現状です。

※複式学級… 国の定める学級編制基準に照らして、児童数が少ないために一つの学年の児童だけでは学級の編制ができない場合に、2つの学年の児童で編制する学級。

Q 将来的に小中一貫校を検討の考えはあるのか。

A 義務教育課程9年間を見通した小中連携教育を推進していきます。  
現時点では、小中一貫校についての計画はありません。

## 教育に関すること

Q 再編により学校が大きくなれば、きめ細やかな指導ができにくくなるのではないか。

A 新しい学習指導要領では、知識の習得だけでなく、他者との比較や対話を重ねながら自らの考えを深めていくことが求められており、一定規模の集団を確保し、教育環境を整えることが重要だと考えています。小規模校のメリットもありますが、多くの教職員で子どもたちを見ること、多くの友達と関わるといったメリットを生かした教育を進めていきます。

Q 再編までに他校との交流を。ICTの活用による学校間の交流を。

A 安心して新しい学校に通えるように、行事の合同開催、合同学習などの事前交流を行っていきます。また、ICTも効果的に活用し、学校間の交流を行っていきたいと考えています。

Q 中学校が令和6年に1校となるが、小学校が再編される前は中学校に上がった時に小さな学校から学年4クラスの大きな学校となり、不安がある。

A 中学校入学前に合同の交流会等を実施しながら、少しずつ顔見知りの状況をつくる取り組みを進めていきます。また、オンラインでの交流も行い、早い段階で顔を知れる状況をつくり事前に生まれる不安を少しずつ払拭するという取り組みをしていかなければならないと考えています。

Q 通級指導教室(※)や特別支援学級についても配慮をお願いしたい。

A 現在、小学校の通級指導教室は2校配置していますが、再編すれば3校全てに配置できるように準備を進めています。また、特別支援学級や不登校児童の支援についても引き続き検討していきます。

※通級指導教室…一部特別な指導を必要とする子どもが特性に応じた指導を受ける教室。普段は小学校の通常の学級に在籍し授業を受けるが、通級指導教室の時間だけ、通常の学級の授業を抜け、設置された学校へ移動する。なお同じ学校に設置されている場合は、学校間の移動は必要ない。



## 学校施設・規模に関すること

Q 白石地域新設小学校の位置や建物の検討は新しい学校づくり準備委員会で行うのか。

A 新たに基本構想・基本計画策定委員会を設けて令和5年度から位置や規模、機能等を検討していきます。（策定委員会の構成は、地域住民、保護者、教職員等に入ってもらいます。）

Q 有明地域新設小学校については、有明中学校を活用となっているが建物や敷地は足りるのか。

A 現状では普通教室の数が不足しますが、小学校では必要のない特別教室がありますので、そこを改修し確保します。（敷地は十分確保できます。）

Q 有明・白石地域新設小学校のプールはどうするのか。また総合遊具施設の計画はあるか。

A プールや総合遊具については、これから基本構想・基本計画策定委員会等を設けて検討していきます。有明地域新設小学校は、ふれあい郷のプールを利用する予定です。

※（ ）書きは説明会で回答していない追加説明

Q 福富小学校の主な改修箇所は。

A 福富小学校は建築後年数はたっていますが、耐震化の改修をしており、主たる構造部は強度があると考えています。まずしっかりと現況の調査を行い、その結果を踏まえて改修内容を検討していきます。

Q 学童保育施設はどうなるのか。

A 学童保育は、学校敷地内や隣接している方がよいと考えています。学校の施設整備に合わせて学童保育施設についても検討していきます。

Q 白石地域新設小学校は将来的に1校になることを見据えた建設になるのか。

A 将来1校になることも想定して検討していきたいと考えています。

Q これから施設整備が始まっていくが白石町の財政面は大丈夫なのか。

A 長期的な財政計画を検討し、財政的にも負担ができるということで計画を進めています。  
(学校再編により一時的に施設整備費はかかりますが、長期的に見れば学校数が減ることから財政負担は少なくなります。)

Q 再編にかかる新設、改修、解体の費用計算は。

A 学校再編を検討する中で、概算の費用計算を行っています。これから設計を行っていく中で、財政面も考慮し、工事内容等検討していきます。

## 通学支援、通学路の安全・安心に関すること

Q 自転車通学については検討されるのか。

A 自転車通学も検討事項に入れて「新しい学校づくり準備委員会」で検討していきます。

Q 路線バス等の利用についてはどう考えているのか。

A 路線バス等による通学支援も考えられますが、基本はスクールバスによる支援を考えています。

Q 再編したら子どもたちの生活範囲、友達付き合いも広くなり、自転車等での行動範囲が広がって、安全面等の不安がある。

A 自転車等での行動範囲を定める必要性など子どもたちの安全を考え、これから具体的に協議を行っていきます。

Q 福吉や新観音あたりは福富小学校が近くなるが、福富小学校へ行けるのか。

A 地域の声も聞きながら、「新しい学校づくり準備委員会」で検討していきます。

Q スクールバスの停留所の数はどの程度になるのか。児童が少なければ停留所までの集団登下校が難しいのではないか。

A 子どもたちの体力づくりや地域での登下校の姿を残したい、といった面から停留所を密に何か所も設けるのではなく、停留所まで一定距離を歩いて登校するような運用を考えています。停留所の数と位置については、これから「新しい学校づくり準備委員会」で検討していきます。

## 地域と学校との連携に関すること

Q コミュニティ・スクールのこれまでの成果はどのようなものがあるのか。

A 学校だけでは難しい取り組みについて地域の力を借りながら進めることができ、ふるさとの良さを知るなど実体験の深まりがあります。さらに子どもたちの見守りにより、登下校時の安心安全も確保されています。学校運営協議会でも地域の方からの意見を取り入れながら、学校運営を改めるとい取り組みが進んでいるところです。

Q 学校が地域にお世話になるだけでなく、学校の子どもたちが地域の活性化やまちづくりに貢献できるようなコミュニティ・スクールになればいいと思う。またコミュニティ・スクールができた時にディレクターという推進役があったが、そのような役割の方が必要だと思う。

A 参考とさせていただきます。

Q 地域の小学校は伝統、文化、歴史があり大切な施設である。地域から小学校が無くなれば若い人達の流出が加速する恐れがある。小学生の姿を見ると不安が和らぐという効果もある。

A 地域とともにある学校づくりをめざして、町内すべての小中学校でコミュニティ・スクールに取り組んでいます。地域の人と関わり、郷土の伝統文化について学ぶことで、子どもたちが郷土愛やふるさとの大切さを実感し、将来的には定住してくれることも期待するところです。

## まちづくり・学校跡地利用に関すること

Q 人口増や移住、定住対策の進捗状況は。  
若い人たちが結婚しやすい、子育てしやすいまちづくりを進めてほしい。

A 町では移住・定住事業に広く取り組んでいます。①東京圏在住者移住支援事業 ②佐賀暮らしスタートアップ事業 ③結婚新生活支援事業 ④空き家・空地バンク ⑤住宅取得を支援する（支援額100万円）住まいる“しろいし”応援事業を行っており、県下でもトップレベルのものと考えています。これからも様々な対策について検討していきたいと考えています。

Q 人口対策は様々な施策があるので、若い人たちにもっとPRを。

A あらゆる媒体により周知をしています。相談件数も増えてきており、これからさらに期待ができると考えています。

Q 有明南小学校の施設はまだ使用可能と思うので、何らかの活用を考えて欲しい。  
跡地利用は思い切った対策をして欲しい。

A 小学校については、複数の施設、跡地の活用がでてきますが、既存の公共施設との兼ね合いも勘案しながら、それぞれの活用を考えていくことになります。白石町は地域コミュニティを大切にしており、各地域の意見も伺いながら、幅広い視点で今後の方針を検討していきます。

Q 福富中学校の跡地利用は。

A 福富中学校は閉校となる時期も決まっており、すでに検討を重ねているところですが、まちづくりや子育て環境の充実など考慮して検討していきます。

Q 跡地利用の現時点のアイデアやニーズの問い合わせはあるのか。

A 現時点でも問い合わせはいくつかあっています。今後の人口動態やコミュニティの在り方、企業の進出を取り巻く町の状況などの変化を見ながら対応していくこととなります。



## 小学校3校再編に関すること

Q 審議会の答申では2校再編だったのが3校になった経緯は。福富小が残った経緯は。

A 子育ての利便性や町の国土利用計画の生活拠点ゾーンである白石、福富、有明のそれぞれの地域を生かしていきたいというところから、3校としています。小学校は地域コミュニティの核としての存在が強く、学校づくりとまちづくりを一体として進めていく必要があると考えています。

Q 町内の小学校再編が進んでいく中、福富小学校をもっと魅力的な学校にしていかないと、取り残された感が残ると思う。新しく開校する2校に負けない魅力的な学校にしてもらいたい。

A 学校運営協議会等で地域の方々の意見とお知恵もお借りしながら、魅力ある学校づくりをしていきたいと考えています。定住促進対策も進めていき、地域と一体となって取り組んでいきます。

Q なぜ白石地域新設小学校の開校が2年遅れたのか。

A 白石地域新設小学校は、適地に新築する予定です。令和5年度から基本構想、基本計画、基本設計、実施設計の業務と各種調査、申請業務に3年から4年の期間で行う予定です。その後、建築工事や外構工事また備品搬入等に3年程度の期間が必要であるため、令和12年の開校を予定しています。

Q 白石地域については、令和12年に4校を1校に再編する計画であるが、まず4校を2校に再編して、最終的に1校に再編しては。

A 4小学校を1つにしても適正規模に収まりますので、2校ずつに分けてではなく、4校を1校に再編としています。

Q 江北、北方、大町は昔から小学校は1校である。3校はどうか。

A 将来的に1校というのは見据えておかなければならないと考えています。ただ現時点では、地域コミュニティの核としての小学校の存在、子育ての利便性、まちづくりといった観点から3校としています。

Q 歴史と伝統のある小学校が無くなることに喪失感がある。小学校は歩いて行ける範囲がよいと思うし、スクールバスでの通学はどうか。  
例えば低学年の間は分校として残すといった方策もあるのではないか。

A スクールバスは家の前から学校までという運行ではなく、バスの停留所まで歩いて登校するようにします。それぞれの学校の歴史は認識していますが、ご理解をいただきたいと思います。  
(分校については、町としては適切な教育環境とはとらえていません。)

Q 3校を1つの学校として、2校を分校扱いとしては。そうすれば校歌は1つ、制服も同じとしたら、仮に1校になったとしてもスムーズに行くのでは。

A 小学校再編について検討する中で、分校案も考えました。分校とすると校長を置けないなど教職員の配置の問題もあり学校運営に支障が出てくることから、現在の案を提案しています。

## 小学校の将来の展望に関すること

Q 将来1校再編はあるのか。どのような場合に1校再編となるのか。

A 児童数などその時々々の教育環境を取り巻く状況を見定めながら、検討していくこととなります。人口減少対策やまちづくりをしっかりと行い、この3校を維持していきたいと考えていますが、1校再編も見据えておかなければならないと考えています。現時点で具体的に時期を示すことはできません。

Q 小学校再編について保護者や地域住民がどのような意識を持っているのかアンケートや調査を行う必要があるのではないかと。

A 保護者や地域住民の代表の方が参画する学校運営協議会および今後設置する新しい学校づくり準備委員会等で意見を伺っていきます。また今後も様々な機会で皆さんの意見を聞いていきたいと考えています。

(以前のアンケート結果や議会審議、学校統合再編審議会等の経過により、再編についての合意形成はできていると判断し、小学校再編を進めています。)

Q 将来1校再編も見据えるということだが、将来的に3校を1校にではなく、2校に再編するという考えはないのか。

A 将来的に1校とするのか2校にするのかは今後の人口推移を見ながら検討するものと考えています。まずは、まちづくりをしっかりと行い、3校での教育に力を注ぎたいと考えています。

Q 将来1校再編を検討するタイミングの指標を決めては。

A 今後、移住定住促進対策やまちづくり等の事業に伴う人口推移をふまえて、その先の再編を考えていかなければいけないと思っています。1校再編の指標についても検討はしたところですが、まずはまちづくりに力を入れさせていただき、今後の人口の推移を見ながら再度検討をしていくこととしています。

## その他

Q 例えば6年生で再編となった場合、制服はどうなるのか。

A 制服については、導入するかどうか、導入時期、負担軽減など「新しい学校づくり準備委員会」で検討していきます。

Q 県内各市町の小規模校についても学校再編が推進されているのか。

A 県内でも学校再編をしたり小中一貫校、義務教育学校となったところもあり、現在検討中のところもあります。人口減少傾向が見られる県内西部地区の方の動きが顕著です。

Q 説明会で、住民の方から出た意見等の参加していない方への周知方法やアウトプットについてどのように考えているのか。

A 住民説明会やパブリックコメントで出た意見は広報誌やホームページ等で周知します。また「新しい学校づくり準備委員会」での協議の参考とさせていただきます。

Q 閉校する学校にはたくさんの備品が残るが、有効活用する計画はあるのか。

A これから具体的に検討していくこととなりますが、学校備品の有効活用については、なるべく無駄にならないようにしていきたいと考えています。

Q 食育、給食について。白石は食に恵まれている地域だと思うが、オーガニック等について検討されているのか。

A 白石町の給食はとてもおいしいと好評です。今はアレルギーのこともありますので、一人ひとりの子どもに応じた献立や対応をしていきたいと考えております。

## 要望等に関すること

有明地域には、地名に有明が残っていない。公的には学校名にしか残っていない。  
新しい小学校名には「有明」を入れて欲しい。

国道に歩道橋を設置してもらえないか。

変形四差路があり、見通しが悪く危険なので交差点改良をお願いしたい。

他市町に比べて公園や児童館が少なく感じる。そういった施設が増えれば助かる。  
雨の日にも遊べるようなところがあればいいと思う。

説明会は小さなお子さんを持つ保護者の方が参加しやすいようにして欲しい。  
若い人たちが意見を出しやすいような方法も考えて欲しい。

貴重なご意見ありがとうございました。ご意見については今後の参考にさせていただきます。